



衆議院議員 かど博文 活動報告

かどTOPICS

新型コロナウイルスの感染拡大に対する2020年度第2次補正予算案(約32億円)が5月27日に閣議決定いたしました。

【主な予算案】

1. 家賃支援給付金の“創設”(2兆242億円)

売上の急減に直面する事業者の皆さんの事業継続を下支えするため、家賃の負担を軽減することを目的として、テナント事業者に対して給付制度を創設いたします。

複数店舗を所有する場合は、家賃の支払い総額に対して例外措置を設ける予定です。

給付上限額は、法人50万円、個人25万円、6ヵ月分給付予定

＜給付対象＞

- ◆ 前年同月比で売上が「1ヵ月で50%以上」または「3ヵ月連続で30%以上」減少している方

2. 持続化給付金の“拡充”(1兆9,400億円)

1次補正で2兆3,176億円計上した持続化給付金ですが、2次補正予算案で更に2兆円弱を計上し、売上が大きく減少した事業者の皆さんに、法人200万円、個人事業100万円を上限に現金を給付いたします。

＜給付対象＞

- ◆ 前年同月比で売上が50%以上減少している方
- ◆ 中堅企業、中小企業、小規模事業者、個人事業者、その他各種法人等

3. 雇用調整助成金の抜本的“拡充”(7,717億円)

1次補正で8,330億円計上した雇用調整助成金ですが、日額上限額8,330円から15,000円へと特例的に引き上げます。解雇等を行わない中小企業の助成率を4/5 ⇒ 10/10へ、大企業は2/3 ⇒ 3/4へ引き上げます。

また、支給処理に係る人員体制の強化及び社会保険労務士との協力体制の構築等により、支給の迅速化を図ります。

4. 休業支援金(仮称)の“創設”(5,442億円)

今回のコロナ拡大の影響で事業主が従業員を休業させ、休業期間中の賃金の支払いを受け取ることができなかった中小企業の従業員自らが直接、支援金を申請できる制度を創設いたします。

5. 地方創生臨時交付金の“拡充”(2兆円)

1次補正で1兆円計上した地方創生臨時交付金。この交付金は、雇用の維持や事業の継続、また経済活動の回復を図る事業に活用など、地方自治体が柔軟に使用できる交付金です。和歌山市では、この交付金を活用して、新たにデリバリー事業を導入する飲食店の皆さん向けのサポート補助金等を設定。